

# GerbTool V16.9の新機能など

## NEW – 64 ビット メモリアドレス空間を採用

64 ビット アーキテクチャへの更新により、Windows 64 ビット OS のアドレス空間で利用可能なすべてのメモリをフルに活用することができるようになりました。32 ビット アプリケーションでの 4 GB のメモリ制限がなくなり、精度が高く大きなデータの取り扱いが可能となりました。

## NEW – ビュータブの強化

強化したビュータブは、閲覧レイヤーを含むすべての表示設定を保存/読込できます。

- データの表示や操作を容易にする既定ビュータブを自動的にロードするオプション機能を追加しました
- ビュータブやコントロールを追加し、作業環境をカスタマイズ可能となりました。
- チーム全体が同じ環境の設定で使用できるように、新しい WSSI\_SITE 環境変数をビュータブで使用できます。

## NEW – サイト全体のコントロール環境が可能

ネットワーク レベルで構成オプションの制御に、新設定の WSSI\_SITE 環境変数の利用が可能です。

利用できる設定：

- ビュータブ設定
- マクロの読込
- ユーザーメニュー
- 動的ルール設定を含む DRC/DFM ルール設定
- パネル配置パターン
- カスタマイズアパーチャ読込

## NEW – オブジェクトのスナップオプション

座標を必要とする操作中に HOME キーの使用で、最も近い線の終端や中心、円弧、ポリラインまたは多角形をスナップします。SHIFT + HOME キーを押すと、最も近い対象の端のポイントまたは中心線にスナップできます。CTRL + HOME キーと CTRL + SHIFT + HOME シフトを続けるとスナップする場合の絶対座標ダイアログをポップアップします。

## NEW – 接続したポリラインの塗りつぶし

塗りつぶした多角形にボイドで描かれたアウトラインはデザイン全体をシンプルにし、不十分なアウトラインをクリーンアップするオプションは、困難なデータ操作を容易にします。

## NEW – 寸法最新化

図面・寸法記入用ツールモードレス ダイアログ ボックスは、速いパラメータ変更で、スムーズなワークフローを行えます。

- 描画レイヤーごとに基点使用する座標寸法の変更
- 追加/ディメンション コマンド中に存在しない場合に図面レイヤーを自動作成
- テキストの位置の水平/垂直方向に変更する寸法
- テキスト全部を囲む注意書きバルーン

## NEW – テストポイント解析

GT インスペクタと GT デザイナのオプションのテスト解析は、IPC-2581 ファイルに定義されたテストポイント位置をチェックします。

含まれるチェック：

- テストポイントのテストポイント
- 銅箔のテストポイント
- 切削溝のテストポイント
- 境界のテストポイント
- 部品のテストポイント
- マスクのテストポイント
- IPC-2581 テストポイント不良

## IPC2581 入出力機能強化と修正

- 図研ファイル用標準プリミティブの Xform のサポート追加
- Altium からの IPC2581 ファイル読み込みに関する問題の修正
- PhyNet のテストポイントの GerbTool へのインポート
- ColorTerm 属性順序の修正
- 内部に「内層レイヤー」がない場合のエキスポート
- 誘電体層がある場合のブラインドやベリレーレイヤーのエキスポートを修正
- 2581 エクスポートでのレイヤータイプ"Other"の修正
- レイヤータイプ型の浸漬錫上部と下部の、インポート時設定不良の修正
- 2581 エクスポート時に"Immersion"レイヤー無視の修正
- 2581 での寸法レイヤーエキスポート
- 2581 インポート ダイアログを Shift キーが押された場合のみ表示しバイパスする方法のチェック ボックスをダイアログに追加
- ステップ名をエキスポート時に小文字に変更していた問題を修正

## ODB++入出力機能強化と修正

- インポート時のパッド角度を問題の修正
- 認識されていないフィールドがあるファイルのインポートを修正
- "Poynting for Microwave" software ソフトウェアのサポートを追加しましたをこのファイル インポートを修正
- 数字のみのファイル名のファイルがインポート可能

## マクロ開発機能強化

- 以下のユーザー設定ダイアログボックスによる DefineForm マクロコマンドの容易追加:
  - o EditControl
  - o MultiLineEditControl
  - o DropListControl
  - o ListControl
  - o ButtonControl
  - o FileBrowserControl

- o StaticText
- o AnalysisErrorReport
- o GetItemArea
- パネルデザインの穴座標チャートマクロコマンド追加
- PUTNCTOOLDESIGNDATA と FHS via GET アクセスマクロコマンド追加
- DCEXPAND マクロコマンドでのレイヤー表示を修正
- TextReplace マクロコマンドの修正
- レイヤーを削除するマクロのクラッシュを修正
- Stacked Pads マクロコマンドでのレイヤー表示を修正
- FILEWRITE コマンド説明の修正

### DRC-DFM 機能強化と修正

- はんだブリッジチェックの高速化
- DFM エラー表示時の「単一エラー ハイライト」オプションを追加
- Copper Sliver エラーの修正
- 極めて長い円弧のネットリストエラーの修正
- 境界チェックによる重複エラーの修正
- ネットリスト比較の際に"unused"という名称ネットを無視するように追加
- 平面レイヤー上の“Drill to Copper”エラーの修正
- 新しいファイルのロード後"ERR"タブ更新の追加
- NonstandardAttribute 名="TEXT"のデータを Acid Trap, Copper Sliver, Stubs detection の間、無視するよう追加

### その他の変更

- View > Restore ツールバーコマンドを出荷時デフォルトに設定
- ライセンス アクティベーション メール Outlook64 ビットでの動作
- “Custom to Intrinsic” が作成されない件の修正
- ベクトル化項目のエンドポイントでなくセグメントの追加
- CAM350 ファイルで新しく見つかった構成のサポートの追加
- 12 以上の経路の穴チャートの修正
- 描画パッド変換中のパッド形状回転の維持を追加
- 同じグラフィックを異なる回転でのアパーチャ決定と分析サポートの追加
- 多層フォーマットのインポート後レイヤーの表示を制御する機能の追加
- カットラインのポリゴンが含まれたカスタムアパーチャの隙間の修正
- ドリルパッドで分離パッド削除を同じサイズの削除に修正
- 描画パッド変換の予期しない方法のウィンドウ変更の修正
- 使用されていないアパーチャのアップデート時の寸法の修正
- GerbTool ステンシルセットアップ図形の修正
- 2581 のエクスポート時の GerbTool 貼付け形状回転方向の修正